

## イベント参加報告

9月10日(土)に裏磐梯で実施されたニチレイグループの従業員研修に、黒沢研の首藤君(D3)、黒沢さん、塘の3名がお手伝いとして参加させて頂きました。簡単に報告します。

10:20頃スタートした桧原湖畔自然探勝路での自然観察は、長峯舟付から吊り橋までの間は裏磐梯エコツーリズム協会のお二人(長岡さんと立花さん)がガイド役を務めて下さり、11:00頃、吊り橋から福島大学チームにガイド役がバトンタッチされました。昆虫班と植物班の2班に分かれ、目に付いたものの解説をしながら歩きました。昆虫担当の私はマユタテアカネ、リスアカネ、ヒナバタ、ミドリヒョウモン、メスグロヒョウモンの雌、マルハナバチ類など、ニチレイグループの従業員の方が見つけて下さった虫の名前や生態を説明しながら「あずまや」を目指しました。あずまや付近は水草とトンボ類が豊富に観察できるので、しばらくここで腰を据えて生物観察をしました。植物班は首藤君と黒沢さんが水草を池から取り出し、バットに入れての観察と解説、私は吊り橋まで行く間に採っておいた赤トンボ(マユタテアカネ、リスアカネ、キトンボ、赤トンボではありませんが、ウスバキトンボ)やその場で採集したオオルリボシヤンマ雌やアオイトトンボを見て頂きながら解説をしました。ここで班を交代し、前半は植物班だった皆さんにも赤トンボの実物を見て頂き、また、探勝路入口までの道を大型のムネアカオオアリやアキアカネなどを観察しながら進みました。虫は多くなかったですが、ニチレイグループの皆さんは熱心に観察したり、いろいろと尋ねたりして下さい、ガイドのしがいがありました。

昼食後、曲沢沼に移動し、大繁殖しているコカナダモを駆除しました。黒沢研の卒業生、山口昌子さんも参加し、エコツーリズム協会の方と福島大学チームの胴長隊が池内でコカナダモを熊手でかき集め、カップとゴム手袋を身につけたニチレイグループの皆さんには、陸に上げたもの、あるいは水際まで運んだものを熊手で陸に引き上げて回収・運搬、という作業をして頂きました。約1時間の作業でしたが、岸付近のコカナダモはかなり駆除することができました。15:30頃には作業を終了し、集合写真撮影後、ニチレイグループの皆さんはバスに乗って郡山駅まで帰られました。ニチレイグループの従業員の皆さん、駆除活動お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。来年もお待ちしております。

作業終了後、黒沢さんと塘はペンションともの友坂さんに美味しいコーヒーをご馳走になり、その後、小野川湖付近に最近出現したアレチウリの駆除に向かい、4株を除去してから大学に戻りました。

